

# ふるさと 通信員だより

vol.165



私が町内の身近な  
話題を紹介します♪

たかだ てつこ  
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



**盤上に世界唯一の絵**

木野地域町民センターを道場として、音更町福祉囲碁同好会(定村和久会長、会員31人)が活動しています。  
同会は、平成6年に発足以来、日曜日以外毎日活動を続けて今年で25年を迎えます。  
日頃から研鑽を重ね有段者24人、級位者7人で、1日4時間ほど対局します。「で、どうなのさ」「駄目だ」などと話しながら碁盤に集中します。  
最年長の八巻隆さん(88)は「仲間に会えるのと認知症予防のために続けています」と黒の一手を指しながら話します。何もなかった盤上に黒と白の石で世界唯一の絵を描いているようでした。



**迫力ある浪曲を堪能**

北蘭友愛クラブ(玉置洋会長、会員207人)の第四・四半期例会が、北蘭老人憩いの家で開催され、日本の伝統芸能「浪曲」を楽しみました。  
帯広浪曲学校の潮田武校長と潮田月若副校長の迫力ある浪曲2席が披露され、三味線を伴奏に、独特の節回しと語りで参加した70人を魅了しました。  
蝦名ハマ子さん(77)は「浪曲は、親が聞いていたので懐かしかったです」と感想を話してくれました。  
昼食では、女性たちが手作りの豚汁を食べながら懐かしい浪曲の余韻に浸っていました。